

こが



市議会だより

<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>



ちびっこの命を守る (7月12日:古賀グリーンパーク)



特集

新メンバー紹介 2~7

議員の顔ぶれ・議会構成・会派

議会事務局紹介

ここが聞きたい!一般質問 8~13

第2回定例会の主な審議(賛否表) 14

特別委員会・意見書・第2回定例会審議結果 15

表紙のことば・編集後記 16

第56号

平成23年(2011年)

8月8日

発行責任 福岡県古賀市議会

元気な古賀市

大根川上流 (清瀧本谷)

薬王寺川上流 (河内池)

希望を持てる古賀市に！

議会全体で力を発揮

古賀市議会議長 奴 間 健 司



4月の市議選結果を受け、新しい体制で古賀市議会がスタートしました。よろしくお願いたします。

まず、東日本大震災で犠牲になった方々、被災された方々に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。議会としても、被災地の復旧・復興のための様々な活動、さらに古賀市の防災計画の見直しに真剣に取り組む決意です。

私は5月17日、議長就任にあたり、5点の基本方針を表明しました。これは市民の皆さんとの約束です。

第一に「魅力と誇りある古賀市」に向けて、議会として積極的に役割を果たします。環境・福祉・子育て・教育・産業振興など魅力あるまちづくりをめざします。

第二に「開かれた議会の充実」です。議会、だよりや議会ホームページの充実、議会のインターネット中継・録画の配信、議会報告会開催、市民が傍聴しやすい環境整備に取り組みます。

第三に「議会の役割の発揮」です。二元代表制を堅持し、議会としての監視・評価ならびに政策立案・政策提言という役割が発揮されるよう努力します。活発な議案審議、決算審査の充実と予算への反映、各常任委員会における所管事務調査と提言、各種団体との意見交換等に取り組みます。また、議会全体での研修会などを適宜実施します。

今年度は、議会基本条例制定や第4次総合振興計画について、積極的に取り組めます。

第四に、各党派・各議員それぞれ意見の尊重し、対話を重視した「民主的な議会運営」です。議員連絡会や会派代表者会議、正副議長・事務局長との打ち合わせを定期的に開催します。

第五に「議会事務局」の充実です。議員の調査・研究、政策作りなどに対するサポート充実に向け配慮します。

市民の皆さんのご期待に応え、希望を持てる古賀市に向け、議会チームとして力を発揮するよう頑張ります。

副議長 西尾 耕治



緑と都市部との調和が取れた古賀市は、私どもが誇れる街であると確信いたしております。しかし、先ごろの大震災の影響や、一向に好転しない経済状況をかんがみれば、確かに樂觀視できないところがあることも事実であります。

政治とは夢を語ることも大事であるとの認識から、議会が一丸となって、今後論議されていくであろう第4次総合振興計画や、議会基本条例をはじめとする議会改革に、未来を見据えながら、真摯に取り組んでいくことが、重要であると強く思います。

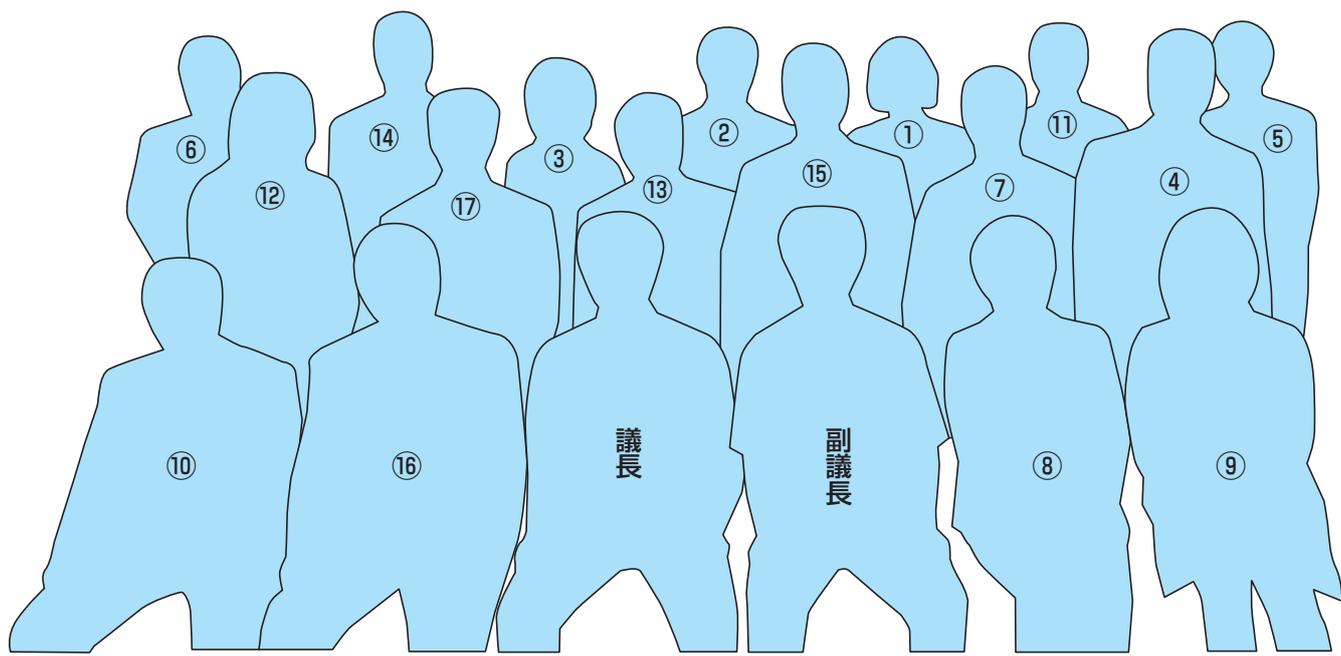
また、市民から負託を受けた議会としては、しっかりと活動状況を発信していくことも大事であり、今後は情報ツールを利用するなどの研究も必要になると思われま。シブレイイが、自分自身しびれることで、相手をしびれさせることができるように、議会みずからが市民の皆様方へしっかりと情報を発信させることが、安全・安心のまちづくりに、つながっていくことと思えます。

厳しい時代ではありませんが冬は必ず春になるとの思いで、議長を補佐し、議会全体で、一体感を持つて職務にまい進したいと決意いたしております。

今後とも、市民皆様方の古賀市議会へのご理解とご支援を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。



19人の古賀市議会議員（平成23年6月22日 議場内）



番号は議席番号です。次のページをご覧ください。

おもいを新たに!!

女性6人、男性13人の古賀市議会

1番 倉掛 小竹



もつと政治を身近に!

市民自治を目指す議会活動も2期目となりました。皆さんとの対話の中から、様々な提案をしていきます。

議会は私たちの暮らしをよくするための道具です。

2番 許山 秀仁



西鉄宮地岳線が廃線になって以来、跡地の有効利用について地域の人たちと共に取り組んできました。

今後も跡地全部の有効利用に取り組んでいきます。

3番 前野 早月



「生命が大切にされるまちづくり」を目指し、住民の声を市政に反映させます。

清掃工場、バイオマスタウン、医療介護問題、子育て支援などに力を入れ、分かりやすい政治を心がけます。

4番 清原 哲史



議会改革を進め、市民の声が活かされる政治を基本に、安心と安全、活力ある古賀市を目指し、諸問題に真正面から取り組んでいきます。

スタンスは地域に。視点はグローバルに。心は民衆に。

5番 阿部 友子



議会主催の議会報告会の開催など議会改革に取り組み、みなさまの声が届く議会を目指します。市民の力をつなぎ、古賀の魅力を発信、誇れるまちづくり、住みよさを実感できるまちづくりに励みます。

6番 松島 岩太



保守本流の政治家として、孤高を恐れず、古賀に住んでいる人々の息遣いや温度を、肌で感じながら、先行き不透明なこの時代の難局を、リーダーとしての自覚を持って、ただひたむきに働きます。

7番 田中 英輔



くらしの立て直しが急がれています。

生活や雇用の現場である地方から、地域の特色を活かし、人権が保障される、いきいき元氣な希望と、思いやりのあるまちを目指します。

8番 内場 恭子



4期目の出発です。

市民の皆さんの思いに寄り添い、願いや要望の実現に取り組んでいきます。くらしと福祉・教育の充実に全力を尽くします。お声を聞かせてください。

9番 芝尾 郁恵



3期目も「一人の声を大切に」「現場第一主義」をモットーに、みなさまの声を少しでも市政に反映できるように努力いたします。古賀市が「安全・安心な笑顔あふれるまち」になることを目指し頑張ります。

10番 結城 弘明



安全安心のまちづくりは待ったなしであります。国の混迷と地方の財源不足は更に厳しい情勢ですが、3期目も現場と皆様の声を大切に確かな経済成長で躍進した古賀市づくりにまい進します。

11番 三好 貴一



再選の榮に浴することができました。これもひとえに皆様の温かいご支援の賜物と、厚く感謝申し上げます。今後古賀市の発展に鋭意努力してまいります。

12番 姉川 さつき



2期目も前期同様、文教厚生委員会と、議会報編集特別委員会に所属しました。福祉・教育の諸問題に全力で取り組み、さらに議会の内容を、ありのまま正確に、市民の皆様へ届けてまいります。

13番 仲道 誠明



政治の主役は私たち住民です。この基本的な考え方に立ち、4年間精一杯活動します。また、現場主義を行動規範とし、市民の声を直接聴くよう努めてまいります。

14番 高原 伸二



私は古賀が大好きです！不況が招く現在の古賀において、ますます手厚い福祉や、市民の経済的負担を軽減するため、強い経済を取り戻し、財源の確保に取り組みます。新人一年生、頑張ります！

15番 吉住 長敏



①先人の知恵や伝えに学ぶ②情熱 (Passion) ③人間味④じっくり提案⑤深部をよくみる⑥共感と独創的な視点⑦毎日ブログ更新⑧毎月の活動報告⑨気易く来やすい⑩心身共に健康・そんな市議を目指す。

16番 飯尾 助広



市民の皆さんのご意見をお聞きし古賀の元気を求めたい。土地の有効利用、文化振興、校区コミュニティの推進、農業・商業・工業の活性化を目指します。

17番 船越 義彰



2期目の議席を頂き、心新たにし、「誇れる郷土古賀に」を掲げて頑張りたいと思います。緑豊かな故郷を守って、もつともつと素晴らしいまちを目指します。

年齢別議員数 (平成23年5月13日現在)

40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	最年少	最年長	平均年齢
2人	7人	10人	42歳	69歳	58歳2カ月

新・議会の構成



- 議長 奴間 健司
- 副議長 西尾 耕治
- 監査委員 仲道 誠明

常任委員会	委員名 (◎は委員長、○は副委員長)								
<p style="text-align: center;">総務</p> <p>総務課、地域コミュニティ室、人事秘書課、経営企画課、財政課、会計課、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>◎内場 恭子</td> <td>許山 秀仁</td> </tr> <tr> <td>○田中 英輔</td> <td>高原 伸二</td> </tr> <tr> <td></td> <td>吉住 長敏</td> </tr> <tr> <td></td> <td>西尾 耕治</td> </tr> </table>	◎内場 恭子	許山 秀仁	○田中 英輔	高原 伸二		吉住 長敏		西尾 耕治
◎内場 恭子	許山 秀仁								
○田中 英輔	高原 伸二								
	吉住 長敏								
	西尾 耕治								
<p style="text-align: center;">文教厚生</p> <p>福祉課、予防健診課、介護支援課、子育て支援課、隣保館、教育総務課、学校教育課、生涯学習推進課、青少年育成課、給食センター、(歴史資料館・図書館)</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>◎芝尾 郁恵</td> <td>倉掛 小竹</td> </tr> <tr> <td>○清原 哲史</td> <td>阿部 友子</td> </tr> <tr> <td></td> <td>松島 岩太</td> </tr> <tr> <td></td> <td>姉川 さつき</td> </tr> </table>	◎芝尾 郁恵	倉掛 小竹	○清原 哲史	阿部 友子		松島 岩太		姉川 さつき
◎芝尾 郁恵	倉掛 小竹								
○清原 哲史	阿部 友子								
	松島 岩太								
	姉川 さつき								
<p style="text-align: center;">市民建産</p> <p>市民国保課、市税課、収納管理課、環境課、人権センター、農林振興課、商工政策課、都市計画課、建設課、下水道課、水道課、農業委員会</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>◎飯尾 助広</td> <td>前野 早月</td> </tr> <tr> <td>○船越 義彰</td> <td>結城 弘明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>三好 貴一</td> </tr> <tr> <td></td> <td>仲道 誠明</td> </tr> </table>	◎飯尾 助広	前野 早月	○船越 義彰	結城 弘明		三好 貴一		仲道 誠明
◎飯尾 助広	前野 早月								
○船越 義彰	結城 弘明								
	三好 貴一								
	仲道 誠明								
<p style="text-align: center;">議会運営委員会</p> <p>議会運営、議長の諮問について審査 ※委員構成は、各会派から1人の選出となっています。</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>◎結城 弘明</td> <td>阿部 友子</td> </tr> <tr> <td>○姉川 さつき</td> <td>芝尾 郁恵</td> </tr> <tr> <td></td> <td>三好 貴一</td> </tr> <tr> <td></td> <td>吉住 長敏</td> </tr> </table>	◎結城 弘明	阿部 友子	○姉川 さつき	芝尾 郁恵		三好 貴一		吉住 長敏
◎結城 弘明	阿部 友子								
○姉川 さつき	芝尾 郁恵								
	三好 貴一								
	吉住 長敏								
<p style="text-align: center;">議会報編集特別委員会</p> <p>議会だよりの円滑な発行、編集方法などの総合的な調査研究 ※委員構成は、各常任委員会から1人、各会派から1人の計6人からなっています。</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>◎前野 早月</td> <td>阿部 友子</td> </tr> <tr> <td>○倉掛 小竹</td> <td>田中 英輔</td> </tr> <tr> <td></td> <td>姉川 さつき</td> </tr> <tr> <td></td> <td>吉住 長敏</td> </tr> </table>	◎前野 早月	阿部 友子	○倉掛 小竹	田中 英輔		姉川 さつき		吉住 長敏
◎前野 早月	阿部 友子								
○倉掛 小竹	田中 英輔								
	姉川 さつき								
	吉住 長敏								

会派の紹介

会派は2人以上で構成しています。
(◎は代表)

こうめいとう 公明党

◎芝尾 郁恵 西尾 耕治

「福祉・教育・平和」を基本に、努力が報われ、夢が持てる命輝く市を目指し、市政に全力で取り組む決意です。

さんみかい 山海会

◎田中 英輔 三好 貴一 倉掛 小竹

平和、人権、環境、福祉、教育。安心して暮らせる市政に市民目線で取り組みます。

きらり 希来里

◎清原 哲史 前野 早月
奴間 健司 吉住 長敏

市民との対話を深め、市民の声が活きた政策を提言。その実現に向け行動します。
ふる里古賀の未来に希望を。

めいゆうかい 明友会

◎阿部 友子 仲道 誠明

元職の2人で会派を組みました。市民の目線で古賀市の課題に取り組み、皆様の声の代弁者となります。

せいふうかい 政風会

◎結城 弘明 高原 伸二

少数会派ですが、商工会や観光協会、料飲店組合等と連携し、活性化に取り組み、市民の負託に応えていきます。

じゆう 自由

◎船越 義彰 許山 秀仁 松島 岩太
姉川 さつき 飯尾 助広

保守としての見識と、良識ある判断に基づき、声なき声に耳を傾け、現場で汗をかき、皆さんと共にまちづくりの夢を語り、ひたすらに故郷のために働きます。

◎内場恭子議員は無会派です。

私たちがご案内します！

古賀市議会が市民に親しまれ、開かれた議会となるよう、事務局一同頑張っています。
よろしくお願い申し上げます。



●各常任委員会は、議案の審議、所管事務の調査を行います。古賀市議会では議会閉会中も各委員会の施策の進捗状況をチェックし、提言などを行っています。

●委員会は公開です。(一部非公開の場合があります)皆さんの傍聴を、心よりお待ちしております。

●常任委員会の日程は、市議会のホームページでお知らせしています。

一般質問

研修棟建て替えの進捗状況は

(答) 総合整備計画を確定したい



姉川さつき
 (自由)

を、行政が支援をする。

問 行政が方向性を持ち、共に協力し合うことも必要。文化は継承が大事だが、子どもに対しての取り組みは。

教育長 演劇部やプラスバンドなど、学校活動もしている。

問 子どもの文化事業では学校との連携が必要。学校では指導者の力が大きい。醸成を願いたい。

問 リーパスプラザの今後の運営は、指定管理者制度導入の検討等進んでいるのか。

教育長 必ずしも指定管理者

問 前市長がアートならば、では竹下市長にとって、文化とは何で、どのような文化事業がしたいのか。

市長 歴史や文化を踏まえた上での祭りや、リーパスプラザを使って、プロデュース等考えていきたい。

問 リーパスプラザの活用は、今後広がるのか。

教育長 生涯学習の整備計画と併せて、検討していきたい。

問 文化事業は市民が担っているのが現状。古賀市の文化芸術を、どう描きたいのか。

教育長 市民の自主的な活動を、



建て替えが待たれる研修棟

とは決めておらず、NPOを立ち上げて頂き、運営してもらいなどの検討をしている。

問 体育施設の現状と課題は。

教育長 登録団体の利用が、7割から8割を占めている。市民が自由に利用できる、施設開放日の設定の検討をする。

問 古賀市の施設は充分と言えるのか。ニーズに答えられている現状ではないのでは。

教育長 確かに足りない。スポーツ施設は満杯で、充分ではないが、計画的にやっていたい。

男女共同参画について見解は

(答) 原発事故から市民を守るための防災計画を



内場 恭子

問 佐賀県玄海原発からの距離は約60キロ。玄海1号機は建設から35年経ち老朽化。事故があれば被害が想定されるが。

市長 原発は安全性の確保が最重要。防災計画では原発事故の想定はない。国・県の動向を注視し、近隣自治体と協議し対応を検討したい。

問 日本は地震国。原発から

の撤退を進行するべきだ。

市長 現時点で断言できない。

問 津波の時、避難場所の古賀西・花見小は海近くにあるが。高台への避難とはどこか。

市長 西小は海拔2〜3mで非常に危険、津波対策は検討中。鹿部山、サンリブ古賀駐

車場、パチンコ店、高架橋などが避難できる場所と認識。

問 これらの避難場所とは、避難者受け入れの話はできて

いるのか。対応できなければ、何の役にも立たない。放射能被害が出た場合の対応は。

市長 指摘は実施するよう検討している。

問 「通院・買い物に公共交通がほしい」との声。隣保館のお金はあつても、コミュニティバスのお金はないのか。

市長 西鉄への補助は最良の選択。公共交通は別と認識。

問 認識は別でも、金の出どころは一緒。予算は市民のために。ぜひコミュニティバスを走らせてほしい。

市長 西鉄への補助は最良の選択。公共交通は別と認識。

問 認識は別でも、金の出どころは一緒。予算は市民のために。ぜひコミュニティバスを走らせてほしい。

市長 指摘は実施するよう検討している。

問 これらの避難場所とは、避難者受け入れの話はできて

いるのか。対応できなければ、何の役にも立たない。放射能被害が出た場合の対応は。

市長 指摘は実施するよう検討している。



意外と近い古賀市と玄海原発の距離

問 市民を守るために原発依存をやめ、自然・再生可能エネルギー利用を要望する。

新隣保館建設は必要ない

問 現隣保館をなぜ建替えるのか。研修棟などが優先では。

市長 隣保館は必要と認識。

問 新隣保館は市民の要望か。建設をやめ、市長選公約の子ども医療費拡大などの実現を。

コミュニティバスが必要

問 「通院・買い物に公共交通がほしい」との声。隣保館のお金はあつても、コミュニティバスのお金はないのか。

市長 西鉄への補助は最良の選択。公共交通は別と認識。

問 認識は別でも、金の出どころは一緒。予算は市民のために。ぜひコミュニティバスを走らせてほしい。

命をつなぐ災害備蓄品と福祉避難所の充実に (答) 大規模災害を想定し、今後充実していく



倉掛 小竹
(山海会)

問 災害時には自治体の災害備蓄品が大きな力を発揮する。特に備蓄食糧はお年寄りや乳幼児など、体力がない被災者にとつて避難後の命をつなぐ大事な物資である。乳幼児に多い食物アレルギーの対応は、**市長** 現在対応していないが、今後は必要と考える。

問 アレルギー用粉ミルクや、アルファ米を備蓄品に加え、さらに、支援物資の受け入れも、一般物資と混合しないよう医薬品として取り扱うべき。**総務部長** 誤れば命の危険あることを十分認識し検討する。

問 市民の防災意識を高めるために備蓄品の活用は、**市長** 防災訓練等で使用。今

後も有効活用を検討していく。

問 9月1日は防災の日。家庭での備えが進むよう、市民ホールなどで備蓄品の公開に取り組んでほしい。

総務部長 地域での訓練で備蓄品のアピールを検討したい。

問 高齢者、障がい者、病人、妊産婦など、手助けが必要な人のための福祉避難所が足りないのでは。

市長 現在、サンコスモ古賀の1カ所だけだが、大規模災害発生を想定すると、充実に



備蓄場所の分散など対応が必要 (東小)

必要。

エネルギーの地産地消を

問 避難所となる学校、公共施設に、太陽光発電システムを設置し、緊急時のライフラインの確保が重要。また福津市では、家庭への太陽光発電補助制度と同時に燃料電池

(エネファーム) 補助が始まるなど、様々な自然エネルギー助成が実施されている。取り組みやすい雨水タンクや緑のカーテンの補助も検討しては。**市長** エネルギー確保のあり方については、方向性の転換が必要と認識している。

震災から防災計画見直し之急がれる。対応は (答) 国・県の検討を待ち早急に計画を見直す



田中 英輔
(山海会)

問 東日本大震災とともに発生した原発事故は、3カ月を経ても収束せず、被災地は地震・津波に加え原子力災害の被害にさらされている。原発事故は放射性物質を拡散し被災地を拡大した。古賀市は佐賀県玄海原発から60キロ余りの風下にあたる、現在の地域防災計画は原発事故を想定しておらず、防災計

画の見直しや、津波対策、市民への原子力防災情報提供、省エネルギーと自然エネルギー利用など急がれる課題がある。

地域防災計画の再検討の考えは。

市長 国、県からの情報に加え、今回の教訓やボランティアの意見を参考に、地域防災計画を見直す必要がある。

問 佐賀県玄海原発で事故が起これば、同様の災害が想定されることから、早急な検討が必要ではないか。

市長 早急に対応したい。防災計画の屋内退避や避



東京都の上水道にも汚染が

難の基準は、どのような方法で確認するのか。**総務部長** 放射線測定器等は持つていない。今後購入等について検討したい。

問 市役所本庁が災害時は情報の統括、指示、指令の中心となる。食料備蓄などの対応はされているか。

総務部長 そこまで対応していない。市役所が災害対策本部になるので、今後検討したい。

問 震災から自然エネルギーの活用は省エネルギーにもつながる重要な課題になっている。利用も広がっている太陽光発電補助の見直し、燃料電池補助の新設などを検討すべきでは。

市長 ご意見として承る。

利用しやすい鹿部山公園に

(答) 利用者の意見を聴き整備する



三好 貴一
 (山海会)

問 鹿部山公園に展望台があるが、植栽が茂り、展望台の役目を果たしていない。

また、急な階段で段差が非常に高く、高齢者・障がい者の方は上り下りが困難であり、補修が必要では。

市長 今後とも鹿部山公園が利用しやすいように、利用者からのご意見を聴きながら施設整備を進める。

副市長 鹿部山公園に限らず全ての公園、あるいは公共施設においても市民の安全を確保しながらご利用いただくということが最優先。利用者にとって便利のいい公園になるように検討していきたい。

問 ポイ捨て条例を周知徹底



植栽が茂り、見晴らしが悪い展望台

し、犬のフン害条例を策定すべきでは。

市長 ごみのポイ捨てについては、既に平成5年に「古賀市空き缶等の散乱防止及びその再資源化の促進に関する条例」を制定し対応している。今後も機会をとらえ市民に周知する。

犬のフン害については、「福

岡県動物の愛護及び管理に関する条例」に飼い主のマナー等があり、今後、市の広報を通じて啓発に努めていきたい。

副市長 古賀市はフン害に対して、どういう対策を講じていくかということをもう一回

真剣に考えて、今後進めていきたい。

問 河川の土手の草刈りを、今後とも継続し、適切な管理や整備を要望したい。

副市長 古賀市はフン害に対して、どうい



急がれる地域での防災マップ作り

災害発生時、すぐに決断を出す自信はあるか

(答) もちろん命を尽くし市民の安全に取り組み



芝尾 郁恵
 (公明党)

問 大震災を教訓に、危機管理の再確認、対策強化で市民を守る体制を盤石にすべき。

市長 国、県の動向を参考に見直す。現在、庁議で初動体制の課題等を協議している。

問 防災計画見直し後、避難場所、避難ルートなど市民にわかりやすい実効性のあるマップと計画概要版の配布を。

市長 配布を考える。

問 配布予定のハザードマップに津波の教訓を加味しては。

市長 地震津波ハザードマップは、来年度作成する予定。

問 緊急時、視・聴覚障がい者にも瞬時に伝達できる「文字データ緊急情報システム」を導入しては。

市長 研究する。

問 被災者支援システムを活用し、大災害時に備えるべき。

市長 活用方法を研究する。今こそ、市長の公約「循環型都市古賀」を目指し再生可能エネルギーの検討を

問 平成15・16年に、九州産業経済局が食品工業団地で調査、バイオマスで一定の効果ありとの報告をご存じか。

市長 認識している。

問 食品工業団地は、市の財産。バイオマス化について市、事業者、専門家で調査研究する協議会の設置が急務では。

第4次総合振興計画の進捗状況は

(答) 基本構想はほぼ固まったが、他は検討中



阿部 友子 (明友会)

市長 していない。

問 代表清算人である市長が総会を招集しなくてはいけない。印鑑証明などの提出が必要だが提出されたか。

市長 スタッフに任せていた。私自身は一切関知していない。

問 商工会への入会の際、名前が「鎮雄」となっているのは、市長 ビジネスネームとして使っていた。

問 最初から(入会当初から)

問 就任後半が過ぎようとしている中、まちの最上位計画がない異例の事態である。

市長 基本構想の都市イメージ、目標人口はほぼ固まったが、土地利用の方針については現在検討中。

問 白地地域の市街化調整区域編入を延期することによる影響をどう考えるか。

市長 可否についての判断はしていない。

問 マニフェスト大会に出席しなかったのはなぜか。

市長 参加するより、このような(リーフレット)形で表現させていただいた。

問 国際文化企画を閉鎖するための総会には出席されたか。



どうなる第4次総合振興計画

なぜ国際文化企画で入会しなかったのか。

市長 中国と取引を始める予定だった。これ以上、この場での答弁を控える。

災害時の対応について

問 必要な時に効果的に増員できるように、職員OBの方

登録してもらって非常時に備えてはどうか。

総務部長 OB職員は市内在住が多い。検討する。

問 避難場所などの周知を図るため「校区防災情報案内板」を設置してはどうか。

総務部長 検討する。

(答) 適時、適切な見直しが行われてきた 都市計画法施行40年目の検証をしては



船越 義彰 (自由)

この利便性の割に新宮町・福津市に比べ開発が遅れていると指摘を受ける。都市計画法施行により厳しい開発制限を受けた市街化調整区域40年目の検証を。

市長 古賀市の都市計画は、昭和45年に指定された都市計画区域及び線引きが基本となっている。線引きの見直しについては広域的な判断で県知事が行う。

問 2009年に作成された都市計画マスタープランには、古賀の自然環境を守っていくため、農業や自然環境に配慮しながら無秩序な開発を抑制



インターチェンジの有効活用を

すると書かれている。口先だけで自然を守ると言っても、農作業する人が居なくなれば自然環境は守れない。農地の有効利用により、農家の農外収入を得ることができるような方策は。

市長 小野南部基盤整備事業の実施、農業後継者に対しての育成事業による経営支援、女性農業者に対して経営支援を行っていく。

約束どおりに、都市計画の5年毎の見直しを

問 5年毎の見直しを信じて、農地を耕し続けた農家の気持ちを考えて、土地の有効利用ができる政策を。

**JR古賀駅東側周辺11・3^{ベル}の整備で本腰を
 (答) その発想はなかったが今後研究**



吉住 長敏
 (希来里)

問 JR古賀駅周辺の本格的な整備を真正面から動き出すではないか。

市長 私自身も強い関心を持っていてる部分だ。

問 121年の歴史の古賀駅。九州新幹線が全面開通した今年を大改造、出発年としては。

市長 市民の皆様のご意見も伺いながら、検討していかなければいけないと認識。

問 図示した11・3^{ベル}の古賀駅東側は、幅員の狭い道路が多く、緊急車両が進入できない。対応を考えるべきでは。

市長 非常によくできた図と思う。どう進めていけばいいか研究していきたい。

問 東側は高層建物はなく空



JR古賀駅東地域

建設産業部長 相当な家屋が

問 当面、後牟田大池線の残区間250m、幅員16mの事業認可を考えては。

副市長 市民の生涯学習の拠点に駅が直結する道路としては必要性が高い。

市長 その発想は持っていないが、今後研究する。

問 都市計画道路古賀駅五楽線(幅員18m)のビジョンについてどう思うか。

副市長 市民の生涯学習の拠点に駅が直結する道路としては必要性が高い。

市長 職員と検討していく。

問 職員のやる気、本気にか

あり、財政的な面から言えば、非常に困難と認識する。

問 大事業は準備に10年、実行10年かかる。市民、関係利害者、専門家を交えた組織を立ち上げるべきでは。

**急げ、市民の命を守る自主防災組織を
 (答) 組織化に向け、今以上力を入れて取り組み**



清原 哲史
 (希来里)

問 防災計画では、自主防災組織をつくるよう指導すると

副市長 できていないのは反省するが、危機管理意識が低いと言うことではない。機運の醸成に努め、今年度中には2地区ぐらい設立できれば。

問 宗像の自主防災組織を調査してきたが、2年前に組織

化し、資格を持った防災リーダーの配置を行い、避難訓練等も実施している。特徴的なのは、3軒単位で班を構成しているところで、避難誘導避難場所、要援護者の把握も簡単にできる。これを参考にしているかどうか。

副市長 地域防災力を高めることが、安心・安全のまちづくりと考えるので、そういった先進事例を参考にしながら取り組みたい。

問 自主防災組織が出来上がれば、災害時だけでなく防犯組織も兼ねるし、地域コミュニティの復活にもつながる。

副市長 自主防災組織が大変重要で必要だと言う認識は持っている。できれば早急に全ての地域において組織されるのが望ましい。今まで以上に力を入れて取り組みたい。

かっている。大変な仕事だがやりがいがある。全国各地、近場の中心市街地を再生した経験から十分可能。この大事業の担い手は20年、30年と働いていくであろう古賀市の職員

の双肩にかかっている。職員と検討していく。



宗像市田島地区での防災訓練

大震災。自然エネルギーへの転換が必要 (答) バイオマスを含め環境施策を検討する



前野 早月
(希来里)

問 清掃工場の緊急事態対応マニュアルは、住民への周知範囲等不十分。見直しが必要。
市長 玄界環境組合とも協議し検討したい。

問 脱焼却・資源循環型社会がこれからのまちづくりの大きな柱になると思うが。
市長 今後調査研究する。

問 (仮称) バイオマスタウン構想推進協議会の設置を。
市長 課題を精査し検討する。

問 大震災で、原発依存から自然エネルギーへの転換は不可避。食品工業団地から出る食品廃棄物、し尿汚泥、家庭生ごみ、剪定枝葉他、市内には多くのバイオマスが存在している。実態調査から始める

必要があるのではないか。

市長 あらゆる可能性を検討したい。

問 環境を掲げた市長。環境施策についての考え方は。

市長 現状を把握した上で検討したい。

住民の生命を守るために(食料供給、仮設住宅、津波避難、福祉避難所等)

問 食料供給については。

総務部長 山崎製パン、ファウンテン・デリ、サンデリカ、イオン九州、サンリブ古賀と



グリーンカーテンで省エネ (古賀市役所)

災害支援協定を結んでいる。
問 仮設住宅の検討は。
総務部長 場所、戸数の問題について検討を始めた。
市長 避難ビルの指定も含めて、防災体制の全体的な見直しをしている。

見小の屋上、マンション等も考えられるが。

平成23年古賀市議会

第3回定例会会期日程(案)

会期 9月1日～9月27日 27日間

日	曜	開議時刻	摘要
9/1	木	9時30分	本会議(初日)
2	金	"	常任委員会(総務)
5	月	"	常任委員会(文教厚生)
6	火	"	常任委員会(市民建産)
9	金	"	本会議(中日)
12	月	"	一般質問
13	火	"	一般質問
14	水	"	一般質問
15	木	"	決算特別委員会
16	金	"	決算特別委員会
20	火	"	決算特別委員会
21	水	"	決算特別委員会
22	木	13時30分	決算特別委員会
27	火	9時30分	本会議(最終日)

※会期日程は、8月29日(月)の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示いたします。

◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会議録」に収録されています。ホームページでもご覧になれます。会議録は、議会事務局、市立図書館で貸し出しをしています。

◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。(本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です)

◎請願書の締切りは8月25日(木)午後5時です。

問 高齢者、障がいのある方、乳幼児などケアを必要とする方の福祉避難所としてクロスパルこがの活用を。
市長 十分検討したい。

第2回定例会（6月議会） の主な審議

第2回定例会（6月3日～22日）における主な議案審議の要点を報告します。

緊急雇用創出に約990万円を補正

福岡県の緊急雇用創出基金事業として、古賀市が所蔵する4607点の歴史保存資料を調査し、劣化が著しいものをデジタル化する事業が充てられました。

整理された資料は目録を作成し、外部からの問い合わせや公表に対応できるようにします。

執行部から、単年度事業で6カ月間、5人以上の新たな

臨時会（5月17日）正・副議長を選出

市議会議員選挙後、初めての臨時会で正・副議長選挙が行われました。

結果は、奴間健司議員9票、松島岩太議員7票、西尾耕治議員2票、無効1票で奴間健司議員が議長に選出されました。

副議長選挙の結果は、西尾耕治議員18票、無効1票で西尾耕治議員が副議長に

選出されました。

あわせて各常任委員会の委員長・委員の選出も行いました。

この他、国民健康保険条例の一部改正、市税条例の一部改正の先決処分を賛成全員で承認。議員年金制度廃止に伴う一般会計補正予算を賛成13、反対5で可決しています。

平成23年第1回臨時会、及び第2回定例会 主な議案の議員別賛否一覧

	臨時会	定例会	
	平成23年度 一般会計 補正予算	原発及び関係 施設の安全確保 等を求める 意見書	議会基本条例 等特別委員会 の設置
結果	可決	可決	可決
賛成：反対	13：5	18：0	18：0
倉掛 小竹	●	○	○
許山 秀仁	○	○	○
前野 早月	●	○	○
清原 哲史	●	○	○
阿部 友子	●	○	○
松島 岩太	○	○	○
田中 英輔	○	○	○
内場 恭子	○	○	○
芝尾 郁恵	○	○	○
結城 弘明	○	○	○
三好 貴一	●	○	○
姉川 さつき	○	○	○
仲道 誠明	○	○	○
高原 伸二	○	○	○
吉住 長敏	○	○	○
飯尾 助広	○	○	○
船越 義彰	○	○	○
西尾 耕治	○	○	○

○は賛成 ●は反対 議員は議席順

慢性腎臓病重症化 防止に100万円

雇用を予定している。特に資格は必要とせず、緊急雇用対策となるよう、なるべく早く事業を開始したいとの説明がありました。

市が行う特定健診の結果から、慢性腎臓病の重症化が心配される人へ、医療機関への受診のすすめや、生活習慣改善の保健指導を個別に行うための経費です。

今回は福岡県のモデル事業で、実施期間は2年間。市では、あらたに臨時の保健師を雇用し、粕屋保健所からの保健師と連携して指導に当たります。

特定健診における過去のデータでは対象となる人が年々増加傾向にあり、昨年度では95人。また、重症化し、透析治療を行う人は132人となっております。

2年の実施期間を経た後、古賀市単独事業とするか、しっかりと検証を行う必要があります。

ようこそ古賀市に！

兵庫県たつの市が議会報視察（7月5日）

兵庫県たつの市から広報調査特別委員7人が、視察訪問されました。

議員自らが編集にあたる「古賀市議会だより」の紙面は全国的にも評価されています。前期作成した「編集マニュアル」を資料として説明を行いました。これからますます注目される「議会だより」を目指して、新委員一同がんばります。

より信頼される議会に向け、全員でスタート!!

議会基本条例等調査特別委員会を設置

6月議会では議会の活性化と開かれた議会の構築に向け、議会基本条例等の調査・研究を行なう特別委員会を設置しました。

議長を除く18人の議員で構成し、設置期間は平成24年6月議会までです。

委員長 清原 哲史 副委員長 許山 秀仁

意見書

原子力発電所及び原子力関係施設の安全確保等を求める意見書の提出について

3月に発生した、東京電力福島第一原子力発電所の事故では、放射性物質が放出される事態となりました。

この事故を踏まえ、原子力発電所及び原子力関係施設の安全の確保並びに住民生活の安全・安心の確保のために、国において事故原因の究明と安全対策、情報公開と提供、財政措置等を求めるものです。

採決の結果、賛成全員で採択し、国会並びに政府に提出しました。

※意見書の骨子

・防災対策重点地域（EPZ）の拡大

・原子力エネルギーから自然エネルギーへの転換

提出者 田中 英輔

賛成者 芝尾郁恵 清原哲史

阿部友子 船越義彰

結城弘明 内場恭子

公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書の提出について

公立学校施設は非常災害時に地域住民の防災拠点として中心的な役割を担ってききました。しかし、防災機能が十分に整備されていないなどの問題もあることから、検証、整備向上、整備状況の公表、支援制度の窓口整備などを求めるものです。

採決の結果、賛成全員で採択し政府に提出しました。

提出者 西尾 耕治

賛成者 芝尾 郁恵

陳情

23年陳情2

古賀市立中学校の教科書採択についての陳情

陳情者 福岡県の教育を考える会 会長 高山和生

23年陳情3

地球防衛宣言に関する陳情書

陳情者 荒木 實

第1回臨時会で審議した議案の結果

会期：平成23年5月17日

議案号数	議案	審議結果
第26号	古賀市監査委員の選任	賛成：反対 同 意 17：0
第27号	専決処分（古賀市国民健康保険税条例の一部改正）	承 認 18：0
第28号	専決処分（古賀市国民健康保険税条例の一部改正）	承 認 18：0
第29号	専決処分（車両損壊事故による損害賠償）	承 認 18：0
第30号	専決処分（古賀市税条例の一部改正）	承 認 18：0
第31号	平成23年度古賀市一般会計補正予算（第1号）	原 案 可 決 13：5

第2回定例会で審議した議案の結果

会期：平成23年6月3日～22日

議案号数	議案	審議結果
第36号	古賀市議会委員会条例の一部改正	賛成：反対 原 案 可 決 18：0
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦	適 任 18：0
第37号	公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書	原 案 可 決 18：0
第38号	原子力発電所及び原子力関係施設の安全確保等を求める意見書	原 案 可 決 18：0
第39号	議会基本条例等調査特別委員会の設置に関する決議	原 案 可 決 18：0



市民活動紹介 ボランティア 訪問 ③

こんにちは！お邪魔しま〜す。

大根川清掃活動中の「レインボー KOGA」の皆さん

大坪さんは「様々なボランティアによって、市内の清掃活動が続いています。一方で、

また、今年10年を迎えた「古賀市10万本ふるさとの森づくり」には7回参加し、グリーンパークの植樹、下草刈りにも携わってこられました。その功績に対して、今年3月、市から感謝状が贈られています。

その後、活動の輪は徐々に広がって現在では20人程の会員の皆さんと共に活動を続けています。今秋も市内河川敷の清掃を実施予定です。

市内の河川敷のごみの散乱や河川の水質の悪化に心痛めていた大坪さんは仲間と2人で河川敷の清掃を始めました。

今回は清掃活動ボランティア団体「レインボー KOGA」の紹介です。代表で花鶴にお住まいの大坪茂樹さんにお話を聞きしました。

「レインボー KOGA」 清掃活動を通じて環境保全を



モラルが問われる回収されたごみの一部

継続は力なり。環境を守るための地道な実践の大切さが伝わってきました。

河川や道路でのポイ捨て等が後を絶たず、モラルの低下が気になります。自宅から一歩出た公道や公園なども一人ひとりの心がけできれいになります。」と市民に呼びかけ「清掃が水源確保、環境保全につながることを理解し、住民全体での清掃活動に広がることを期待している。」と清掃活動への熱い想いを語ってくれました。

編集後記

新しい議会構成による議会活動が始まり、議会報編集特別委員会は、私を含む未経験者4人、経験者2人でスタート。試行錯誤しながら第56号の発行にたどり着きました。できればいかがでしょうか。政治への不信が広がり、議会への方も問われています。6月議会では、議会基本条例等調査特別委員会を設置。市民に信頼される開かれた議会に向けて、様々な活動が始まります。情報発信としての市議会だよりの役割も

ますます重要となってきました。先輩議員達が築いてきた、議会だよりの編集方針を引き継ぎ、市民の皆さんに読んでいただける「議会だより」を目指し、編集委員一同、力を合わせて努力します。

前野早月



願いごとは何かな？(星の子文庫)

表紙のことは

今年で19回目となる「ちびっこしょうぼうひろば」の様子です。消防士さんの熱演で、ちびっこ達は命の大切さを学びました。

議員	委員	副委員長	編集長	特別委員長
吉住 長敏	阿部 友子	田中 英輔	倉掛 小竹	前野 早月
姉川 さつき				

第2回定例会の傍聴者は139人でした。第3回定例会は9月1日(木)開催予定です。傍聴、心より歓迎します。